

サマーセミナー2025開催

歯科の提供体制議論する

「保険あつて給付なし」許さない

8月23日、協会は佛教大学社会福祉学部部長の長友薫輝（ながとも まさてる）准教授を招き、「医療費年間4兆円削減問題を考える」をテーマにサマーセミナーを開催した。会場のM&Dホールに26人、WEBで15人の計41人が参加した。前半は小澤力理事長が「歯科医療提供体制と保険外し問題」と題して報告した。

は、国民医療費の年間45兆円のうち4兆円削減であれば1割カットにあたり、「削減は」到底ありえない」と断じた。特にこの案を推進している日本維新の会は「健康

な考え方自体に問題があると厳しく批判した。国は供給抑制という手法で医療費を減らそうとしているが、それは無医・無歯科医地区、無住地区の増加につながる地域医療の縮小再生産を招くものだと強い懸念を示した。質疑応答でも活発に意見が交わされ、歯科医療提供体制や保険歯科医療のあり方について深めた。

サマーセミナー感想

医療は社会インフラ

理事 斎賀史郎

前半の報告で小澤理事長は、歯科医療費は20年以上もほぼ変わらず推移しており、歯科医療機関が安心して経営を続け、国民の歯科医療を守るためには、歯科医療費の総枠拡大が急務だとした。歯科の低すぎる診療報酬の問題、歯科技工所の経営や歯学部定員調整の

講演中、長友先生は医療費や社会保障は新自由主義に馴染まないという趣旨の発言を何度もされていた。医療は利益が出るから推進する、あるいは利益が見込めないから市場化・産業化とは性格

講演中、長友先生は医療費や社会保障は新自由主義に馴染まないという趣旨の発言を何度もされていた。医療は利益が出るから推進する、あるいは利益が見込めないから市場化・産業化とは性格

撤退するという類のものではない。即ち水道、電気、ガスや道路、鉄道と同様の社会インフラということだろう。また一般的な商取引や市場化・産業化とは性格



中村理事（右）＝8月4日、広島県立総合体育館前



横断幕を手に写真撮影する海外ゲスト＝8月4日、広島県立総合体育館前

共感を示す姿であふれた。the bombの横断幕を掲げ、英語版のキャンペーンを流しているところ、大勢の海外ゲストが共に写真を撮りたいと希望し、DOBの活動に共感を示す姿であふれた。

DON'T BANK ON THE BOMB

広島・原水禁会場前でスタンディング

海外代表から共感

協会が参加する近畿反核医師懇談会は、DOB（Don't bank on the bomb）（核兵器製造企業にお金を貸すな）の活動に取り組んでいる。8月4日は広島県立総合体育館前で、DOBの取り組みを伝えるスタンディング行動を実施した。大阪・兵庫・京都・

和歌山など近畿各協会から10人の医師・歯科医師と事務局が参加。協会からは中村新太郎理事がマイクを手に訴えた。当日は原水爆禁止世界大会が開かれ、海外からの各国政府代表や反核NGOのメンバーなども多数、同会場に足を運んでいた。会場前で「Don't bank on the bomb」の語呂合せだそう。エネルギー源としての石炭のイメージアップを図り、ほかの化石燃料に比べて二酸化炭素の発生量が多い石炭をクリーンなエネルギーとするための技術開発に取り組んでいることをPRする。一方で、原子力などを「脱炭素電源」とし「最大活用することが必要不可欠」などと訴える。

歯界

9月5日はクリーンコールデー（石炭の日）だ。通商産業省（現在の経済産業省）の呼びかけにより、日本鉄鋼連盟・電気事業連合会・日本石炭協会等8団体が1992年に制定したものの、「ク（9）リン（5）ール」の語呂合せだそう。エネルギー源としての石炭のイメージアップを図り、ほかの化石燃料に比べて二酸化炭素の発生量が多い石炭をクリーンなエネルギーとするための技術開発に取り組んでいることをPRする。一方で、原子力などを「脱炭素電源」とし「最大活用することが必要不可欠」などと訴える。

大阪 保険医新聞

9/5

2025年第1532号

（毎月5、15、25日発行）

大阪府歯科保険医協会
発行人 和田 武
大阪府浪速区幸町2-2-20 4階
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-hok.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可



講師の長友氏＝8月23日、M&Dホール

防衛費の

2倍化が

進めるもの

—9—



中国はまずインド太平洋地域で覇権を築き、将来的には地球規模でアメリカにとって代わろうとしていると言っており、アメリカの覇権を存続さ

なぜアメリカは中国に
関与するのか
今回のトランプ政権の国防官、政策担当でもあり、トランプ政権の軍事政策の中心になるよう

な人物だがエルブリッジ・コルビーが去年出した本の中で、次のようなことを言っている。台湾が我々にとって重要な理由は、台湾そのものにアメリカの重大な利益、権益

があるからではなく、中国とアジアが重要だからだ。台湾そのものが重要ではないとはっきり言っている。

軍事力で優位に
中国はまずインド太平洋地域で覇権を築き、将来的には地球規模でアメリカにとって代わろうとしていると言っており、アメリカの覇権を存続さ

覇権を守るための 軍事費増

中国の台湾進攻というストーリー
それを進めるため、アメリカの覇権を守るためにアメリカももっと軍事費を増やす、アメリカの

軍拡に理解を得るための宣伝
かつて冷戦では、ソ連が北海道に攻めてくるか

国民ももっと負担してくださないと。日本にももっと防衛力、軍事費を増やせということになる。軍拡を国民に説明し、軍事費を国民に負担させるためには、具体的な話が必要になる。中国が今にも台湾に侵攻しようとしている、だからそれを抑止するためには軍拡が必要だ。こういうわかりやすい話が必要になってくる。

同封しています
11月30日開催
日常診
ご案内